

祝 第33回 青森県農業農村整備事業優良工事表彰

青森県農村整備建設協会の青森県農業農村整備事業優良工事表彰制度は、建設業関係者の施工技術の向上、労働安全衛生の強化および意識の向上等が図られ、農業と環境との調和のとれた県土づくりに、より一層の貢献が期待できるものとして、1994年度から実施しているもので、本年度で33回目を迎える。

今回は最優秀賞（青森県知事賞）1件、優秀賞（青森県農林水産部長賞）1件、優良賞（青森県振興技術連盟委員長賞）1件、同（青森県農村整備建設協会会長賞）3件の計6件が受賞。
表彰式は5月25日に行われ、受賞者の優れた施工技術をたたえた。

優良賞 青森県農村振興技術連盟委員長賞

株式会社 鈴木建設

工事名 県営蓬田第一地区経営体育成基盤整備事業第5号工事

活力溢れる郷土の発展に奉仕する



代表取締役 鈴木 元就

東津軽郡外ヶ浜町字蟹田内黒山35番1
TEL.0174(22)3407(代) FAX.0174(22)2856

受賞理由

本工事は、工期中に記録的な大雪に見舞われ、地域の除排雪作業を優先したことにより工程に相当の遅れが生じたものの、その後の工程管理を適切に行い、工期内に工事を完成させた。整地作業においては、ブルドーザーにレーザーセンサーおよびMCシステムを搭載し、ブレードを自動制御することで高精度な均平を確保したほか、周囲映像モニターを搭載したバックホウを使用し、作業中の接触事故防止に努めるなど、ICT施工技術を積極的に活用した。また、現場周辺のごみ拾いや道路の環境美化、蟹田川の河川清掃など、地域貢献活動を積極的に実施したほか、ほ場整備事業の実施内容や完成イメージが地域住民に分かりやすく伝わるよう、デザイン性を取り入れた工事看板を設置するなど、創意工夫にも努めた。



優良賞 青森県農村整備建設協会会長賞

株式会社 弘新建設

工事名 県営猿沢地区農地中間管理機関連農地整備事業第6号工事

大地を生かし、
快適空間を創造する



代表取締役 工藤 武

〒036-8061 弘前市大字神田1-4-1
TEL.0172(37)3329 FAX.0172(37)3353

受賞理由

本工事は、沢筋に位置し狭隘で高低差の大きい水田の区画整理工事で、石礫が多く、さらに湧水や地下水の流入もある厳しい施工条件下において、施工および工程管理を適切に行い、全測定数の95%が規格値の50%以内となるなど、良好な品質と出来映えで工期内に完成させた。施工および工程管理に当たっては、関係機関および受益農家を交えた「ほ場整備協議会」を発足し、毎月1回の開催により、要望の取りまとめや各種調整に努めるなど、円滑な事業推進を図った。また、レーザーレベルや、法面整形用の簡易スタントを搭載したバックホウ等を導入し、施工精度の向上に努めたほか、通路用地に制限のある箇所においては、メーカーによる施工手順指導を受けながら補強土壁工を施工するなど、創意工夫を凝らし、施工品質の向上に努めた。



優良賞 青森県農村整備建設協会会長賞

上北建設 株式会社

工事名 県営妙端地区ため池等整備事業第2号工事

「誠意」「創意」「熱意」



代表取締役社長 田島 一史

〒034-0032
青森県十和田市東四番町2番8号
TEL.0176(23)3511
FAX.0176(23)3510
<https://kamikita.co.jp/>

受賞理由

本工事は、幹線用水路トンネル区間において、地震等により安全性が低下してきたことから、崩壊防止対策としてライナープレート工を施工したもので、既設トンネルからの湧水によるコンクリート施工への影響を回避するため、承諾により水中ポンプを追加したほか、坑内作業で出来形確認が困難となる箇所では、内法測定目盛および透明クリアあて尺を使用し、測定値を明確に確認するなど、施工品質の向上に努めた。また、毎日の入坑前には、マルチ型ガス検知器（酸素濃度、可燃性ガス、硫化水素および一酸化炭素測定器）および粉塵計により坑内環境を測定し、安全を確認した上で作業を実施するなど、作業員の安全管理を徹底した。測定結果については記録表により適切に管理するとともに、坑口部に入坑者一覧表を設置し、入坑状況を常時確認できる体制を整備するなどの取り組みにより、品質および安全管理の両面において優れた成果を上げ、無事故で工事を完成させた。

